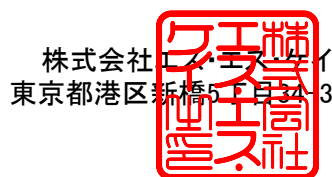


2020年6月8日

御取引先各位



株式会社精工工業
東京都港区新橋5丁目3-3

次亜塩素酸水噴霧器の有効性と安全性について

拝啓 貴社益々の御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般報道されております次亜塩素酸関連の記事内容につきまして、下記の通り弊社見解を御報告させていただきます。

【発表内容】

「経済産業省」及び「独立行政法人 製品評価技術基盤機構」(NITE)より「次亜塩素酸水」の空間噴霧について(ファクトシート)の発表がありました。

この発表を受けて、報道各社から、「現時点において、次亜塩素酸水の新型コロナウイルスへの有効性は確認されていない」と報道されました。

これらの報道を見たお客様から、「次亜塩素酸水噴霧器」の有効性、安全性について多くのお問い合わせをいただきました。

今回の発表内容は、WHO・CDC(米国)・中国国家衛生健康委員会・厚生労働省の見解を掲載しております。

当事務局からの意見は掲載していません。

それぞれの内容の主体は「消毒剤」と表現しています。一般的に消毒剤を噴霧する時は、防護服などで作業員に健康被害に留意する事は常識です。

また、厚生労働省の見解は「次亜塩素酸ナトリウム水溶液」です。pHが8~9以上のアルカリ性水溶液なので、目・粘膜・気管支等に接触すると非常に危険です。

次亜塩素酸水と名前が似ている為、間違った解釈をされる方が多くなっております。厚生労働省は次亜塩素酸水噴霧に関してのコメントはありません。

【次亜塩素酸水の噴霧による有効性】

次亜塩素酸水の噴霧によるウイルス不活性化について、国際的に確立された評価方法は現在存在しておりません。弊社取扱い噴霧器は第三者機関の確実な試験を行い、その結果を見極め販売しております。

【次亜塩素酸水の噴霧による安全性】

WHO、CDC等の「消毒剤の噴霧は推奨しない」という見解について、次亜塩素酸水の噴霧を直接否定しているものではなく、また「次亜塩素酸」等の噴霧によるウイルス対策が公式に認められていると誤認させるような表現に対して注意を促しているものと考えられます。

次亜塩素酸水の噴霧による人体への安全性について、国際的に確立された評価方法は現在存在しておりませんが、弊社取扱い噴霧器は遊離次亜塩素酸(HClO)の影響について、以下の通り考えております。

噴霧された遊離次亜塩素酸(HClO)は、塩素ガス(Cl₂)と水に分解され、塩素ガス(Cl₂)が菌やウイルスに対して有効であり、毒性もございます。塩素ガス(Cl₂)の発生量が増える
と人体に影響があるため、労働安全衛生法において0.5ppm以下を基準と定められております。弊社取扱い噴霧器使用時の塩素ガス(Cl₂)濃度は、24時間密閉空間で連続噴霧しても基準には達しません。また、換気を前提とした使用のため、より安全にご使用頂けます。

弊社取扱い噴霧器に関する有効性、安全性の根拠、表示内容につきまして、今後消費者の方が安心してお使い頂けるよう随時更新して参ります。

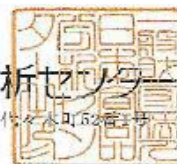
敬具

急性経口毒性試験

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-5-2番1号



検 体 弱酸性次亜塩素酸タブレット

表 題 雌マウスを用いる急性経口毒性試験

2016年(平成28年)03月03日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。



第 16026563001-0601 号 page 2/5

雌マウスを用いる急性経口毒性試験

要 約

弱酸性次亜塩素酸タブレットを検体として、雌マウスを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

検体2個を5 Lの精製水に入れ、30分間静置した試料を5000 mg/kgの用量で雌マウスに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。

以上のことから、マウスを用いる単回経口投与において、試料のLD50値は、雌では5000 mg/kgを超えるものと評価された。